

日本メンタライゼーション研究会 第6回学術集会 一般演題発表の募集について

第6回学術集会における一般演題発表を募集します。発表の申し込みは会員のみです（連名発表者は非会員も可能です）。非会員の方が演題発表を希望される場合は、まず入会申請を行い、入会が承認された後にお申し込みください。

大会日時 2027年2月20日（土）、21日（日）（対面での実施）
一般演題の発表は20日の午後に予定しています。

一般演題の趣旨と形式

趣旨：一般演題は、単独で特定のテーマについて発表するものです。例えば、MBT（メンタライゼーションに基づく療法）の実践、メンタライジングを活用した様々な現場での臨床実践、多職種で協働しての取り組み、あるいはメンタライジングに関する実証的研究など、メンタライジングの臨床や研究に関する様々な取り組みを幅広く取り扱います。

査読：演題の採否は査読を経て決定します。一つの主張をもち、研究発表として方法や考察が適切になされているか、また特に症例においては倫理面に配慮して抄録原稿が作成されているかが審査のポイントとなります。

時間枠：発表20分、質疑応答20分（いくつかの発表をまとめて一つの会場を構成します）

申し込み方法

- ① 一般演題申込書に必要事項を記入してください。
- ② 抄録原稿を手引きに沿って作成してください。
- ③ 送付先：日本メンタライゼーション研究会運営委員会
(mentalization.office@gmail.com)宛てに、上記二つのファイルをメールに添付してご提出ください。
メールのタイトルは、「【一般演題申し込み】〇〇〇〇（氏名）」のようにご記入ください。なお、締め切りは2026年11月15日(日)です。

日本メンタライゼーション研究会運営委員会